

佐賀県立美術館特別展

白馬、翔びたる

黒田清輝と岡田三郎助

Vers le ciel, s'envole le Cheval blanc
— Seiki Kuroda et Saburosuke Okada —



上から、黒田清輝「舞妓」(東京国立博物館蔵、重要文化財) Image: T.N.M. Image Archives 岡田三郎助「あやめの衣」(ホーラ美術館蔵)



白馬会徽章

彼らの
出会いから、
新しい
美の時代が
始まった。

2021 | 9.7 | TUE | 火 | 10.17 | SUN | 日

開館時間：9時30分～18時
休館日：毎週月曜日
※ただし9/20(月・祝)は開館、9/21(火)は休館

主催：佐賀県立美術館
特別協力：独立行政法人国立文化財機構
文化財活用センター、
東京国立博物館
助成：一般財団法人地域創造、
芸術文化振興基金
後援：鹿児島県、朝日新聞社、共同通信社
佐賀支局、佐賀新聞社、(株)時事通信社佐賀支局、西日本新聞社、毎日新聞佐賀支局、読売新聞西部本社、サガテレビ、NHK佐賀放送局、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、FBS福岡放送、KBC九州朝日放送、RKB毎日放送、TNCテレビ西日本、テレQ、南日本新聞社



展覧会アンバサダー
(音声ガイド・ナビゲーター)
女優 中越典子さん

本展は
国立博物館収蔵品貸与促進事業の
特別協力を受けています。



佐賀県立美術館
SAGA PREFECTURAL ART MUSEUM
〒840-0041 佐賀市城内一丁目15-23
TEL.0952-24-3947 FAX.0952-25-7006
<https://saga-museum.jp/museum/>

白馬、 翔びたつ

Vers le ciel, s'envole le Cheval blanc
— Seiki Kuroda et Saburotsuke Okada —

黒田清輝と岡田三郎助



黒田清輝《婦人像(厨房)》
東京藝術大学蔵



岡田三郎助《萩》
兵庫県立美術館蔵



黒田清輝《赤き衣を着たる女》
鹿児島歴史・美術センター黎明館蔵



岡田三郎助《ぬいどり》
佐賀県立美術館蔵



ラファエル・コラン《若い娘》
福岡市美術館蔵



藤島武二《造花》
東京藝術大学蔵

世界中の芸術家が集った、華やかなりし19世紀末のフランス。その地に降り立った一人の日本人青年がいました。彼の名は黒田清輝。鹿児島に生まれ、法律家を志して欧州に渡った彼は、その地で出会った西洋美術に魅せられ、やがて本格的に洋画家を目指すこととなります。

同じ頃、東京にも絵画修行に励む一人の青年がいました。彼の名は岡田三郎助。佐賀藩士の家に生まれた彼は、同郷の百武兼行の描いた洋画に心打たれ、画家になることを心に決めるのでした。

まるで運命に引き寄せられるかのように、二人は1894(明治27)年に会います。黒田はフランスから持ち帰った明るく瑞々しい洋画で、国内に衝撃を与えたばかり。その清新な画風に、若き岡田は大きな共感と憧れを抱きます。この出会いを契機として、二人はともに大きく羽ばたき、日本の美術界を牽引することとなる洋画団体「白馬会」の結成へとつながっていくのです。

本展では「日本近代洋画の父」と呼ばれる黒田清輝と、彼と志を一にし、のち洋画界の巨匠として活躍した岡田三郎助という二人の大家の交流の軌跡を、東京国立博物館所蔵の黒田清輝コレクションを中心とした名品の数々から御紹介します。さらに、彼らと親しく交流し、同時代を駆けた洋画家たちの名品もあわせて紹介し、日本近代洋画の輝ける時代を御覧いただけます。

二人が生涯をかけて切り拓いた、それぞれの美の世界をお楽しみください。



1900年、パリ万博に集った白馬会会員たち
前列：岩村透；中列左から：久米桂一郎、黒田清輝、合田清
後列左から：佐野昭、和田英作、岡田三郎助、小代为重

関連イベント

■記念講演会

「白馬会 — 美術で社会を変える試み」

9月18日(土) 午後1時30分～3時
講師：山梨絵美子氏(千葉市美術館長)
会場：佐賀県立美術館ホール
参加無料、事前申込不要(定員200名)



■シンポジウム

「黒田清輝と岡田三郎助、ふたりが日本美術界に残したもの」

10月2日(土) 午後1時30分～4時
パネリスト：植野健造氏(福岡大学文学部教授)
三谷理華氏(女子美術大学芸術学部特任教授)
稲葉麻里子氏(鹿児島市立美術館学芸員)
野中耕介(当館学芸員)
コーディネーター：松本誠一(当館館長)
会場：佐賀県立美術館ホール
参加無料、事前申込不要(定員200名)

■博物館・美術館セミナー

1 「1900年 白馬、パリに降り立つ — パリ万博と白馬会 —」

9月12日(日) 講師：松本誠一(当館館長)

2 「“油絵”の魅力と科学」

9月19日(日) 講師：野中耕介(当館学芸員)

3 「黒田清輝と洋画家たちの青春 — 『黒田清輝日記』を読む —」

10月9日(土) 講師：秋山沙也子(当館学芸員)

時間：午後1時30分～3時
会場：佐賀県立美術館2階画廊
参加無料、事前申込不要(各定員30名)

■学芸員によるギャラリートーク

毎週土曜日の10時30分から、担当学芸員によるギャラリートークを行います。

■あらかしコンサート

世紀末フランスで活躍した音楽家、ラヴェルとドビュッシーの名曲をお楽しみいただけます。

10月3日(日) 午後2時～3時

出演：永翁亜貴(ピアノ)
会場：佐賀県立美術館ホール
参加無料、要事前申込(定員200名)
※詳細については当館WEBサイトを御確認ください。

同時開催

OKADA-ROOM Vol. 21 岡田三郎助が残したもの
8月21日(土)～11月4日(木) ※観覧無料

交通案内



■JR佐賀駅・佐賀駅バスセンターから市営バスで「博物館前」もしくは「サガテレビ前」下車徒歩すぐ(所要時間約15分)
■九州自動車道佐賀大和ICから自動車約25分
■九州佐賀国際空港から市営バスで「博物館前」下車徒歩すぐ(所要時間約30分)

観覧料

一般1,000円 (割引料金800円)
※音声ガイド利用料500円/回

■高校生以下、障害者手帳又は指定難病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料。
■割引料金は20人以上の団体、博・美・メール会員、学生証(大学・専門学校など)提示の学生、本展覧会又は久留米市美術館5周年記念展「九州洋画Ⅱ：大地のカー-Black Spirytus」の使用済み半券提示の方、17時以降入場の方、JTBベネフィット「えらべる倶楽部」会員に適用。

佐賀県立美術館

〒840-0041 佐賀県佐賀市城内1-15-23
TEL: 0952-24-3947 FAX: 0952-25-7006

https://saga-museum.jp/museum/

